

## スポーツ少年団指導者研修会 各種競技のウォーミングアップメニュー



3月4日、町民スポーツセンターで、新冠町スポーツ少年団主催の指導者研修会が開かれました。  
研修会は、スポーツ指導者の資質向上と相互連携を図ること目的に開かれ、少年団の指導者のほか、小中学校や認定こども園の先生が参加し、各種競技や年齢に合わせたウォーミングアップについて実践的な指導を受けました。

## 新冠ライオンズクラブ杯 全日高フットサル交流大会



3月5日、町民スポーツセンターと青年の家体育館を会場に、新冠ライオンズクラブが主催する全日高フットサル交流大会が開かれ、日高管内から8チームが参加しました。  
チームを卒業していく6年生の卒団記念でもあるこの大会には、選手のほかにもたくさん保護者の応援団が集まり、2つの会場は、声援と熱気に包まれていました。

## こども園で修了証書授与 5回目の修了式



3月24日、認定こども園で、平成27年度認定こども園ド・レ・ミ第5回修了証書授与式が開かれました。  
式には、会場いっぱい保護者や関係者が集まり、年長児・めるん組の園児たちの門出を祝いました。  
卒園する32名の園児たちは、担任の先生から名前を呼ばれるとひな壇に上がり、保護者に対してのこれまでの感謝の気持ちを大きな声で発表し、最後に、横井園長先生から修了証書の贈呈を受けました。

町内の各小学校では、15日に新冠中学校で、18日には朝日小学校と新冠小学校でそれぞれ卒業式が行われ、たくさんさんの生徒・児童が学び舎を後にしました。

## 郷土資料館事業 判官館の草花を知ろう!! 学習会



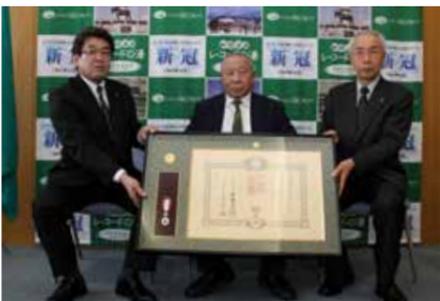
3月19日、レ・コード館で郷土資料館ふるさと再発見講座が開かれました。  
講師は、にいかつぷネイチャークラブの天下謙二さんが務め、講座では、判官館で見られる希少な植物について写真を使い説明しました。  
大下さんは、「判官館は、貴重な動植物の宝庫なので、身近な自然散策を楽しんでください」と話していました。

## 子育て支援センター 雪だるまコロツケを作ろう



3月23日、子育て支援センターで、親子の交流を目的に毎月開かれているチャイルドランド事業が行われ、5組10名の親子が参加しました。  
今月は「目で見て覚えてこどもごはん」と題した料理教室が開かれ、「雪だるまコロツケ」や「くまさんいなり」など、子どもが喜びそうな料理を実際に調理し、参加者全員で試食しました。

## 字高江 八木太市さん 高齢者叙勲 旭日単光章受章



この度、字高江の八木太市さんが高齢者叙勲で旭日単光章を受章され、3月7日、役場会議室で迎見振興局長より伝達されました。  
八木さんは、昭和46年に町議会議員に当選以来、昭和58年まで3期12年にわたり、議員として地方自治の振興や町の振興発展に尽力されたことが評価がされ、この度の受章となりました。

## 健康的な歩き方と靴選び 生涯学習講座〜健康は足から〜



3月12日、レ・コード館研修室で「足育講座〜健康は足から〜」と題した生涯学習講座が開かれました。  
講師の妹尾巨知さんは、良い靴の選び方や靴のサイズを選ぶときのポイント、中敷きの効果などについて解説しました。講習の最後には、ウォーキングの効果的な歩き方について説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

# ま ち の 話 題

あれこれ

## サラブレッド壁画 完成記念セレモニー

3月29日、字節婦町のサラブレッド壁画の改修工事が終了したのに合わせ、完成記念セレモニーが開かれました。  
平成2年に設置された壁画は、老朽化のため全面的に改修することになり、デザインを公募した結果、字高江在住の画家・飛渡さゆりさんの作品が選定され、改修工事が進められてきました。

セレモニーでは、小竹町長の挨拶のあと、出席者を代表して認定こども園の氏家康介くんから飛渡さんに花束が贈呈され、最後に出席者全員で記念撮影を行いました。



完成した壁画は、すでにたくさんの方が立ち寄り、記念撮影をしているとのこと  
で、春の観光シーズン  
を前に馬産地新冠の新しい観光スポットが誕生しました。

## 高齢者虐待防止講演会 在宅や施設でおこる虐待の実情



3月23日、レ・コード館シアターで、高齢者虐待防止講演会が開かれ、町内外から49名が集まりました。  
講師を務めた、札幌高齢者住まいのサポートセンターの小番一弘(かずひろ)さんは、「虐待は、介護者が地域から孤立することで発生することが多いため、日常的に交流をもつことが大事です」と話していました。

## 森で遊ぼう会・はるにれ 乗馬に挑戦しよう



3月29日、ホロシリ乗馬クラブで、親子サークル「森であそぼう会・はるにれ」の乗馬体験会が行われました。  
この企画は、馬産地ならではの体験をしたいと、はるにれサークルの役員がホロシリ乗馬クラブに相談したことで実現したもので、当日は、1歳から12歳までの子どもたちが順番に乗馬を体験し、馬とのふれあいを楽しみました。